

国立大学法人大阪教育大学（所在地：大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1）

事業名

小児期に発症した医療的ケアを必要とする重度重複障がい者や小児がん経験者であるAYA 世代の生涯学習—「生きる体験」を目指し—

主な連携先

大阪市教育委員会・大阪市立総合医療センター
大学（大阪信愛学院大学・千里金蘭大学・藍野大学）

主な対象

重度重複障がい者・小児がん経験者

事業の趣旨・目的

学校卒業後、学習機会の少ない大阪府下を中心として、重度重複障がい者・小児がん経験者に対し、「**オープンカレッジ**」を実施し、学習機会を提供する。また、その空間が居心地の良い「生きる体験」の場になることを目指す。

事業実施体制

連携協議会：大阪教育大学・大阪市教育委員会・大阪市立総合医療センター・大阪母子医療センター・大阪発達総合療育センター・大阪信愛学院大学・千里金蘭大学・藍野大学・昭和大学・大阪府立光陽支援学校・福祉事業所代表・当事者家族等、19名で構成

学習プログラムの内容

オープンカレッジのプログラム

	午前	午後
第1回目	開講式	「壊れやすい体をもつ大切なあなたとの付き合い方」・「陶芸」
第2回目	古代文字を学ぶ-自分の名前を篆書で書こう	句会
第3回目	棒サッカー	生物顕微鏡観察入門
第4回目	音楽	修了式

今年度の取組状況

① 学生ボランティア講習会

障がいや病気を有する方の心理面や身体面の状態に即応した関わりの出来る人材を養成する。 8月18日（金）、9月16日（土）

② オープンカレッジ

9月 1日（金）、10月15日（日）、12月16日（土）
2月10日（土） 各日、午前・午後と2講座開講

※放課後には、同じ年代の大学生との交流の場を設ける。

③ 連携協議会

8月18日（金）、2月10日（土）開催

その他



2023年度活動報告書

文部科学省 科学研究費助成事業 基盤研究C

「小児緩和ケア児の生きる体験に基づいたAYA世代の生涯学習のためのガイドブック開発」の研究において、オープンカレッジの評価を行い、当事者や家族のニーズにあった生涯学習支援の課題や要望、改善点などについて明らかにする。



開講式



陶芸の活動



書道の活動



棒サッカー